



境川クリーンセンターについて

渋谷武己(まちだ新世紀)
問 境川クリーンセンターの地域開放にむけたタイムスケジュールはどのようなになっていますか。
驚北副市長 施設の解体後の活用方法につきましては、公園的な施設として整備する方向で地元と調整しています。また、管理棟につきましては、早期に利用ができるよう地元と協議を進めていきます。

問 経済活性化に好適環境
水を使い、町田の新しい名物、名産作りを研究してみていますか。
市長 地域開発という観点、あとはただ事業化と研究開発が追いついてくるか、どこかの時点で公的なサポートといえますか、それがあれば事業化できるところに達するのかわか、そこが一番のポイントなので、分かれ目になるのかなと思っています。



境川クリーンセンター



厚木基地軍用機騒音対策は

谷沢和夫(民主党・社民ネット)
問 去る五月二二、二四日厚木基地で行われた米軍機離発着訓練に対する市民の苦情の件数、内容とこの訓練に対する市の対応は。
政策経営部長 合計一〇二件です。最も多いのは、市街地上空での飛行や低空での飛行に恐怖を感じるという内容です。町田市の対応ですが、周辺自治体と厚木基地騒音対策協議会として、外務省、防

衛省、厚木基地等に訓練中止の要請文を渡すなどしました。
問 小規模の葬儀や直葬が増えている中で、市の葬祭事業も状況の変化に対応して見直しを図られるべきと思うが市はどう認識されているか。
地域福祉部長 市民の要望に沿ったきめの細かいサービスの提供ができるよう、検討を進めていきます。

市長 年度内には少なくとも結論を出したいと思います。



防災・減災の取り組みについて

上野孝典(公明党)
問 避難所と避難場所の違いが分かりにくい。名称を変えた方がよいのでは。
防災安全担当部長 役割の違いについて「広報まちだ」や市のホームページなどを通じて周知していくとともに、市民にわかりやすい避難所及び避難場所の名称について検討していきます。

問 町田市には給水車が一台しかない。防災計画の改定
に合せ対策を精査して欲しい。
防災安全担当部長 そのほかに応急給水用のタンクを八基、車載用水槽を二基備蓄しており、災害時には給水車として活用することができます。



町田市給水車



防災について

白川哲也(諸派)
問 今年の四月一八日に東京都における地震の被害想定が変更になり、これまで以上の被害が想定される中で、今後の町田市の取り組みは。
防災安全担当部長 この被害想定に基づき東京都は地域防災計画の見直しをこし秋ごろ公表する予定と聞いています。東京都の動向を踏まえ、既に町田市地域防災計画の見直しに着手しており、一

二月末を策定目標として進めていきます。
問 スマートフォンのオフラインで利用出来る防災マップアプリが他の自治体で導入されたが、町田市においても導入してみているか。
防災安全担当部長 今後まだ検証、検討しなければならぬ部分があります。その操作方法ですとか、搭載データを含めて研究していきたいと考えています。

可決した議案の内容

町田市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例

市町村における東京都の事務処理の特例に関する条例の改正により、ふぐ加工製品の取扱者の届出に係る事務が町田市の事務になることに伴い、届出済票の交付及び再交付に係る手数料を定めるため、所要の改正をするものです。平成二四年一〇月一日から施行されます。

町田市立陸上競技場整備付帯施設設置工事請負契約

現在改修工事中である、町田市立陸上競技場に付帯する施設を整備するため、工事請負契約をするものです。

町田市公共下水道事業(二〇一二年度から二〇一三年度までの事業の一部)に関する業務委託契約

鶴川処理区及び町田処理区の区域内における汚水面整備事業の一部、雨水幹線及び枝線整備事業の業務委託契約をするものです。

町田市公共下水道根幹的施設(成瀬クリーンセンター)の建設工事委託に関する基本協定

成瀬クリーンセンター二号焼却炉更新工事及び管理棟耐震補強工事をするものです。

消防ポンプ自動車・電源照明車購入

東京都ディーゼル車排気ガス規制により、自動車検査証

請願の審査状況

平成二四年第二回定例会には四件の請願が提出され、継続審査となっていた四件とあわせて審査を行いました。結果、五件が採択、二件が継続審査、一件が取り下げとなりました。

採択

◎相原駅西口駅前広場への自家用車送迎場所設置の請願
◎町田市議会本会議場に国旗の掲揚を求める請願
◎災害廃棄物の広域処理に関して住民の健康不安を解消するための対策を求める請願
◎餓死・孤立死に関し都及び国に意見書提出を求める請願
◎学校耐震工事並びに芝生化工事期間中の臨時的代替え施設の提供を求める請願

継続審査

◎町田市議会議員の定数削減を求める請願
◎野津田公園の上の原広場西側の平地(通称「上の原はらっぱ」)における暫定駐車場建設工事を中止することを求める請願

請願の処理経過及び結果報告

平成二四年第一回定例会において採択された請願について

て、市長及び教育委員長から処理経過及び結果について報告がありました。

旧緑ヶ丘小学校の施設開放継続を求める請願

旧緑ヶ丘小学校の施設解放継続については、学校跡地利用の活用方法が決定するまで、今までと同様に「町田市学校跡地スポーツ施設利用要綱」に基づき校庭開放を継続いたします。

町田市における放射能対策の強化を求める請願

町田市では、日常的に子どもたちが生活する場所として全市立小・中学校、保育園及び児童館を詳細に測定し、比較的線量が高めの場所については清掃を実施し、すべての場所での線量が低下していることを確認しています。また、結果は市の「ホームページ」や「広報まちだ」で公表しています。

市立の保育園及び幼稚園の測定については、施設からの要望に応じて、市が測定器を貸与するなど支援しています。

特定の箇所について市民から空間放射線量測定の要望又は高線量の通報があった場合には、個別に各所管部署が対応しています。

広報については、放射線に関する基本知識や放射性物質の影響を少なくするために、ご家庭でできる工夫などについて、市のホームページや広報まちだ、いきいき健康だより及び冊子「知っておきたい

放射能早わかりハンドブック」等により普及啓発を行っています。

市民の方への測定器の貸し出しは、市民からの個別の相談や通報に対して市が測定の対応をしているため、現在、考えておりません。

請願項目三について
学校給食における検査機会の増加、牛乳検査の徹底について、二〇一二年四月から測定の対象を給食食材から調理済み給食に変更し、実施しています。町田市立小学校四二校及び中学校給食委託業者二社で調理した学校給食の放射性物質を一週間に一度の割合で順次検査をしています。検査は、一週間分の給食の放射性物質を検査し、各小中学校及び中学校給食委託業者ごとに一学期に一回、二・三学期に一回、年間で二回の検査をします。また、牛乳については、調理済み給食とは別に、毎週検査をしています。

食品に対する放射性物質の検査は、出荷前に各生産地の都道府県において行われているほか、流通後の食品についても、東京都がサンプリングによる放射性物質検査を実施するなど、検査体制が確保されています。そのため、現状では、町田市が食品に含まれる放射性物質を測定する機器を導入する考えはありません。

請願項目四について
町田市では、市内関係部署による連絡会議を適宜開催し、情報交換や情報共有等を行い、市としての一体的な対応に努めております。その上で、福島第一原子力発電所由来の放射性物質に関する問い合わせや相談内容に応じて、所管するそれぞれの部署が対応しています。